

令和 7(2025)年度 伊丹市一般廃棄物処理基本計画

年次レポート

令和8年9月

目 次

はじめに	1
【 進 捗 状 況 】	2
【一般廃棄物処理基本計画の進捗状況】	3
① 資源化率	3
② ごみ総排出量	4
③ 家庭系ごみ排出量	5
④ 事業系ごみ排出量	6
⑤ 最終処分量	7
⑥ 一人一日あたり家庭系ごみ排出量	8
【 取 組 事 項 】	9
SAF(持続可能な航空燃料)事業	9
市域の食品ロス実態調査	10
市内一斉「てまえどり」アピール	11
フードドライブ	12

はじめに

伊丹市では、平成30(2018)年3月に、令和9(2027)年度を最終目標年度とする「伊丹市一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。本計画では「市民、事業者、市の三者協働による未来へつなぐ循環型都市の創造」の基本理念のもと、ごみの発生抑制と再利用を推進するため“2つの減量目標”と“4つの個別減量目標値”を設定し、基本理念の実現に向け“36の具体的な取り組み”を掲げています。

本報告書は、計画の着実な進行を図るため、令和7(2025)年度における減量目標・個別目標・取組状況について、とりまとめたものです。

◆伊丹市一般廃棄物処理基本計画の概要◆

□基本理念

『市民、事業者、市の三者協働による未来へつなぐ循環型都市の創造』

□計画期間

平成30(2018)年度から令和9(2027)年度までの10年間

□減量目標

発生抑制率：令和9(2027)年度のごみ発生量を平成27(2015)年度に比べ10%(6,649t/年)抑制します。

資源化率：令和9(2027)年度の資源化率を18.5%に改善します。

【 進 捗 状 況 】

◆減量目標◆

令和9(2027)年度までに

- ① 発生抑制率10%達成 ② 資源化率18.5%達成

計画年度 目標項目	平成27年度 (基準年度)	令和6年度	令和7年度			令和9年度 (最終年度)
	実績値	実績値	目標値	実績値	前年度比較	目標値
発生抑制率(%)	—	14.4	8.3	16.2	1.8	10.0
資源化率(%)	16.6	16.6	18.1	16.0	▲0.6	18.5

<個別減量目標>

計画年度 目標項目		平成27年度 (基準年度)	令和6年度	令和7年度			令和9年度 (最終年度)
		実績値	実績値	目標値	実績値	前年度比較	目標値
総排出量 (t/年)		66,603	57,025	61,067	55,783	▲1242	59,954
(内訳)	家庭系ごみ (t/年)	42,959	36,186	39,527	35,445	▲741	38,834
	事業系ごみ (t/年)	23,644	20,839	21,540	20,338	▲501	21,119
最終処分量(t/年)		7,727	6,002	6,952	6,003	1	6,796
1人1日あたり家庭系ごみ 排出量(g/人日)		570	508	541	498	▲10	531
発生抑制率(%)		—	14.4	8.3	16.2	1.8	10.0
資源化率(%)		16.6	16.6	18.1	16.0	▲0.6	18.5

【一般廃棄物処理基本計画の進捗状況】

① 資源化率

資源化率…前年度比較 0.6%の減少

計画年度 目標項目		平成27年度 (基準年度)	令和6年度	令和7年度			令和9年度 (最終年度)
		実績値	実績値	目標値	実績値	前年度比較	目標値
総資源化量 (t/年)		11,081	9,471	10,621	8,926	▲ 545	11,001
(内訳)	行政回収 (t/年)	5,281	5,434	5,332	5,227	▲ 207	5,337
	集団回収 (t/年)	5,194	3,596	5,213	3,275	▲ 321	5,217
	剪定枝堆肥※1 (t/年)	76	76	76	76	0	76
	中間処理後※2 (t/年)	530	365	—	348	▲ 17	371
資源化率(%)		16.6	16.6	18.1	16.0	▲ 0.6	18.5

※1 中間処理施設に搬入された剪定枝の一部を堆肥化

※2 中間処理施設に搬入された鉄・アルミなどを選別し資源化

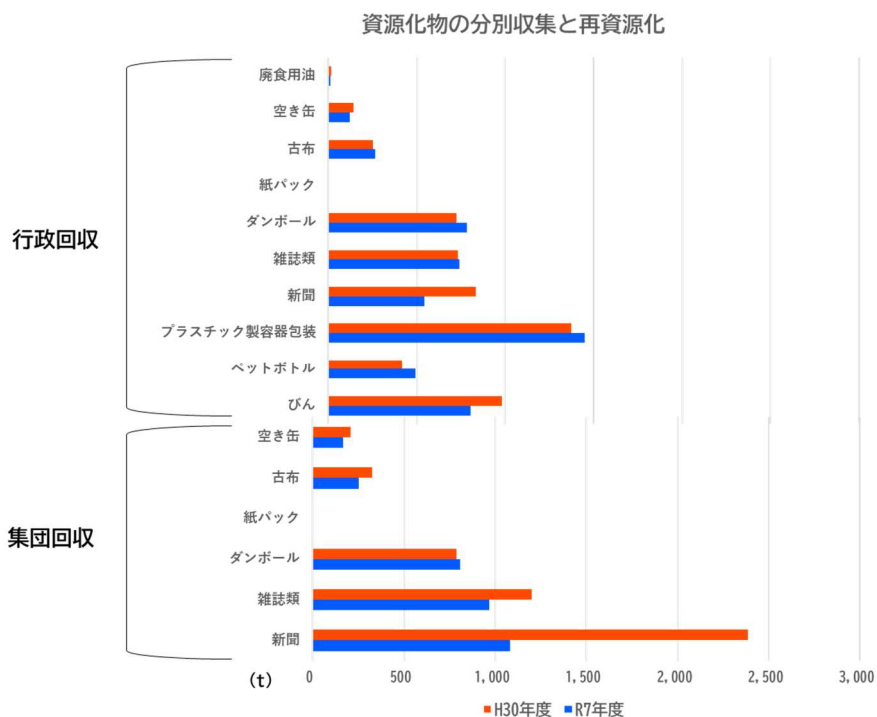


図 資源化物の分別収集と再資源化

② ごみ総排出量

ごみ総排出量…前年度比較 1,242tの減量

ごみ総排出量（t）

年度	平成30	平成31	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
目標値	64,941	64,409	63,845	63,289	62,734	62,194	61,622	61,067	60,502	59,954
実績	63,599	63,361	62,223	61,987	60,483	58,156	57,025	55,783		

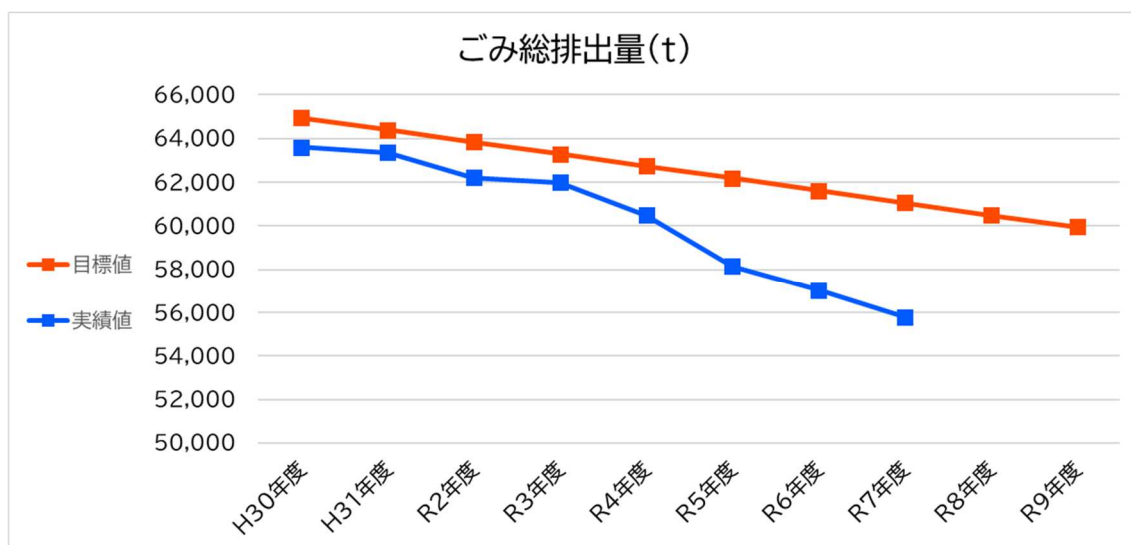


図 ごみ総排出量

③ 家庭系ごみ排出量

家庭系ごみ排出量…前年度比較741tの減量

家庭系ごみ排出量（t）

年度	平成30	平成31	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
目標値	41,928	41,606	41,252	40,907	40,562	40,233	39,872	39,527	39,172	38,834
実績	40,662	40,750	40,933	40,643	39,298	37,325	36,186	35,445		

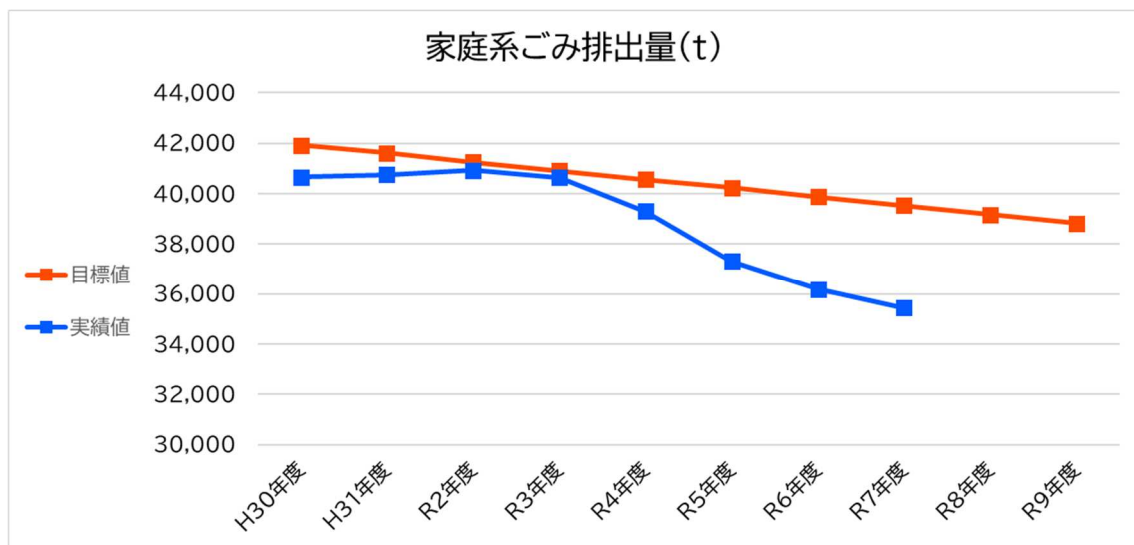


図 家庭系ごみ排出量

④ 事業系ごみ排出量

事業系ごみ排出量…前年度比較 501tの減量

事業系ごみ排出量（t）

年度	平成30	平成31	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
目標値	23,013	22,803	22,592	22,382	22,171	21,961	21,751	21,540	21,330	21,119
実績	22,937	22,611	21,290	21,345	21,184	20,831	20,839	20,338		

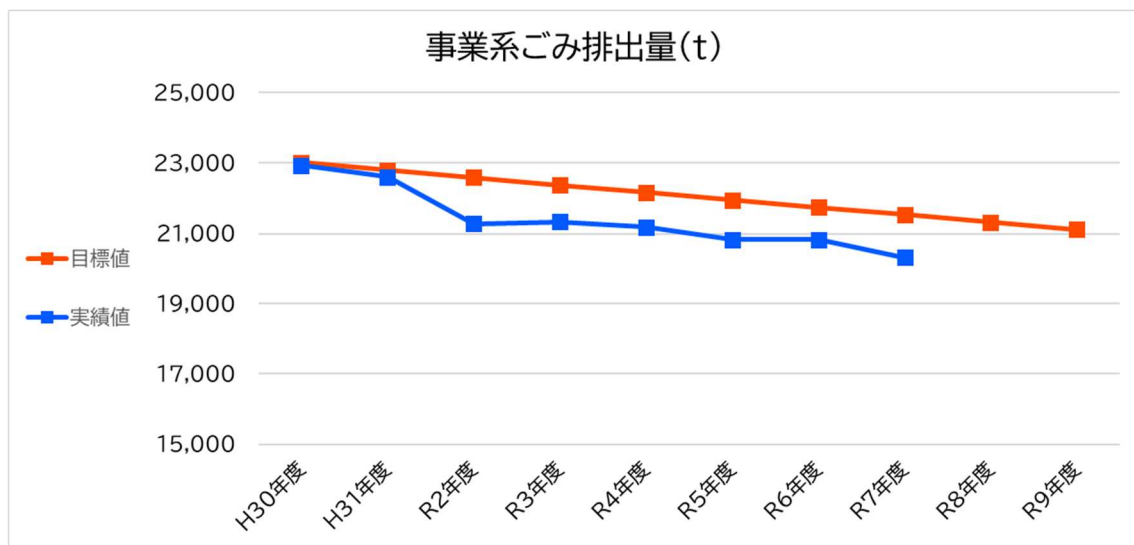


図 事業系ごみ排出量

⑤ 最終処分量

最終処分量…前年度比較 1tの増量

最終処分量の目標と実績（t）

年度	平成30	平成31	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
目標値	7,494	7,417	7,339	7,262	7,184	7,107	7,029	6,952	6,874	6,796
実績	7,160	7,020	7,072	6,705	6,569	6,240	6,002	6,003		

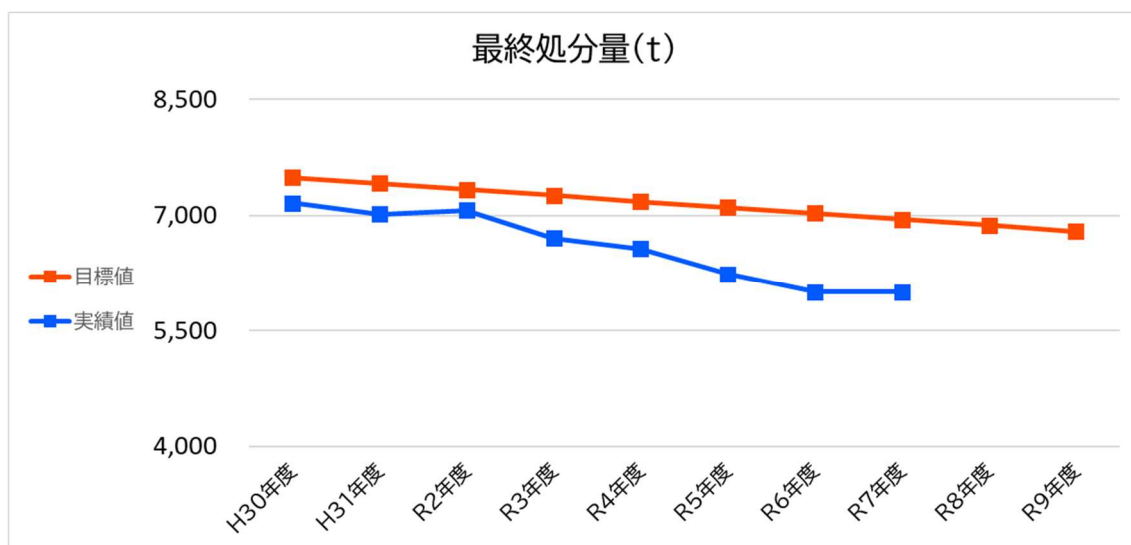


図 最終処分量

⑥ 一人一日あたり家庭系ごみ排出量

一人一日あたり家庭系ごみ排出量(g/人日)…前年度比較10gの減量

一人一日あたり家庭系ごみ排出量 (g/人・日)

※再生資源含む

年度	平成30	平成31	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
目標値	577	570	566	561	556	549	546	541	536	531
実績	563	561	565	563	546	520	508	498		

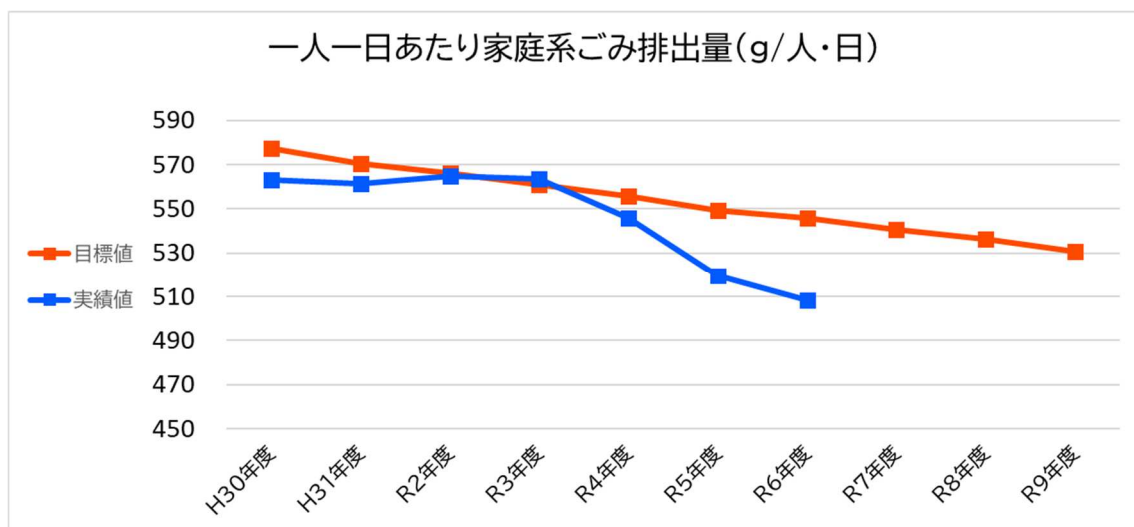


図 一人一日あたり家庭系ごみ排出量

【 取 組 事 項 】

SAF(持続可能な航空燃料)事業

伊丹市は、日揮ホールディングス株式会社、株式会社レボインターナショナル、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY と「伊丹市 SAF(持続可能な航空燃料)への資源化促進等に係る連携及び協力に関する協定」を令和 7 年 6 月 24 日に締結しました。

本協定は、互いに連携・協力し、廃食用油が SAF(Sustainable Aviation Fuel)として再資源化されることを市民に周知することにより、分別意識の向上及びリサイクルを促進し、更なるごみの減量化と循環型社会の形成を推進することを目的としています。

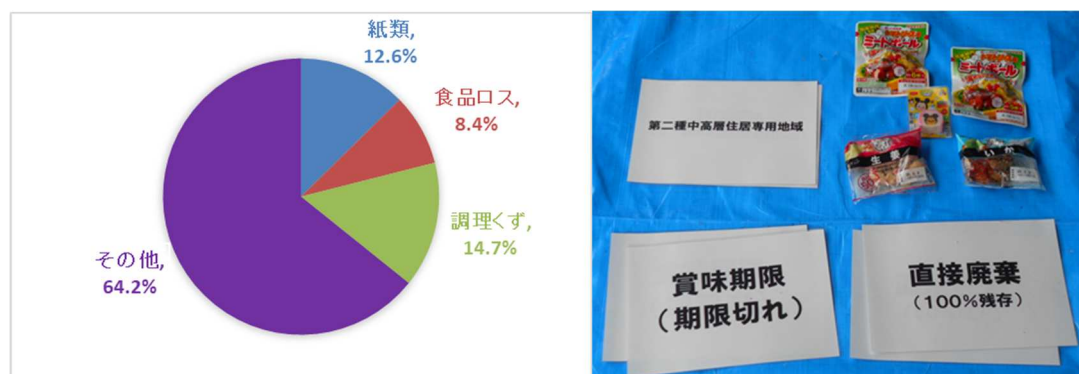
【協定の概要】



市域の食品ロス実態調査

令和7年5月に市内で発生している食品ロス(食べ残しや期限切れ食品の廃棄)の実態を把握するため、家庭から出る燃やすごみの組成調査を実施しました。

その結果、燃やすごみ全体重量の約 8.4%を食品ロスが占めており、市域全体で試算すると年間約 2,095 トン、1人1日当たり約 29.5 グラムの食品ロスが発生していることが分かりました。これらを金額に換算すると、年間約 27 億円、1人当たり年間約 1 万4千円に相当する食品が廃棄されていることとなります。



市内で廃棄された食品(一例)

市内一斉「てまえどり」アピール

10月の食品ロス削減月間に合わせ、市のマスコットキャラクター「たみまる」をあしらった啓発用ポップやポスターを作成しました。これらを市内のスーパーマーケットやコンビニエンスストアの店内、特に商品陳列棚などに掲示し、市民の皆様には「てまえどり」を周知啓発しました。



伊丹市マスコット
たみまる

伊丹市

伊丹市は「てまえどり」の取り組みを応援しています
「てまえどり」とは
購入してすぐ食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、
販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ購買行動です。

食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT

フードドライブ

令和7年度に開催されたフードドライブ

- ・ 尼崎信用金庫と食 de つながろが、市内にある尼崎信用金庫の各支店でフードドライブを実施。（市後援事業）
- ・ 食 de つながろが、市役所1階市民協働スペースにおいてフードドライブを実施。（市共催事業）

フードドライブとは、家庭で余っている未利用食品を、食料支援を必要とする方々へ届ける取り組みであり、この活動は市民や事業者の皆さんの日常生活に根ざした身近な社会貢献として、着実に浸透してきています。



また、市が実施する拠点回収の周知活動をさらに推進するとともに、市民や事業者が行うフードドライブについて、福祉部局と連携して引き続き支援してまいります。